響けチンドン 中心街に

半世紀ぶり、前橋で大会

アマチュア中心、地元が誘致

前橋の街をチンドンで活気づけよう。文化継承と地域の活性化を目指し、前橋市でチンドンの演奏活動を繰り広げている厩橋CHINDON倶楽部（北原雄一郎理事長）が二十二日、中心商店街で「アマチュアチンドン競演会」を開く。アマチュアが中心となる大会は全国でも例がなく、同倶楽部は「パレードで街中にぎわいを」と張り切っている。

前橋中心商店街をパレードする厩橋CHINDON倶楽部＝今年7月、知事選啓発パレード

同倶楽部は昨年十一月に結成。前橋馬場通り親交会の商店街活性化事業の一つとして同月に開校したチンドン大学（卒業生が中心となっている。年足らず で祭りやく予定になっている。北原理事長によると「富山県で毎年開れている全日本コンクールにアマチュア部門はあるが、素人は聞いたことがない」と話している。

競演会には演奏するのは、同倶楽部のほか、早稲田大学の愛好会など県外のアマチュア団体。特別参加としてプロのチンドンチームも招く。中心商店街を巡り、その後、再び商店街をパレードし、同日に開かれる中心市街地イルミネーション点灯式などに参加。幕引き上げに一役買う。

チンドンの大会は市内では一九五〇年に、前橋商工祭で開かれたことがある。北関東大会として実施され、前橋や高崎、桐生といった地元団体だけでなく栃木や埼玉のチンドン屋も出場。翌年も県内から六組が集まり、市内を練り歩いた。大会はこれ以来のことで、半世紀ぶりの復活。

チンドンや点灯式をテーマにした写真コンテストも企画しており、北原理事長は「大会開催は倶楽部の夢だった。楽しいムードをつくって成功させ、来年はもっと規模を大きくしてみたい」と話している。

県鳥ヤマドリ 追跡調査

発信器付け放鳥 減少歯止めへ 勢多農

勢多農林高校グリーンライフ科の一年生二十人が、県鳥であるヤマドリの行動調査を第十見村赤城山の同校演習林で始めた。ヤマドリの動向は全国的にもほとんどデータがなく、自然個体数の減少が危ぐされていることから、電波発信器を装着して調査することになった。県自然環境課はヤマドリ五羽を提供するなどして協力。「収集された情報をヤマドリの保護、管理に役立てていきたい」と期待している。

五羽の首に電波発信器を付けて演習林内に放し、約三カ月間にわたって、ほぼ日生徒が現地に入って調査する。生徒は五班に分かれ、それぞれ担当のヤマドリの電波をアンテナで追跡、GPS（衛星利用測位システム）を活用して経度を確定。位置を地図に書き込んでいくことでヤマドリの行動を把握するという。

「生物分類」という授業の一環で、動物の生態を知るとともに、農林業への被害を調べ、保護の方法を考えるきっかけにするのが狙い。

萩原英樹・県自然環境課主任は「生息数が減少しているため、県は毎年、ヤマドリを放鳥している。今回の行動調査でこれまでにない貴重な情報が得られると思う」と話していた。

ヤマドリを放鳥し、行動調査を始めた勢多農林高の生徒たち

靴に反射材を

高齢者事故防止へ運動

県交通安全協会連合会

増加傾向にある高齢者の交通死に事故を防ごうと、県交通安全協会連合会（樹田英一会長）は県内の高齢者を対象に、反射材を靴底などに張り付けるよう勧める「足元に反射材を」運動を展開している。

高齢者の交通死に事故は歩行中や自転車運転中に多く、視界の悪い薄暮時や夜間に集中している。こうした中、車のライトを反射の効果を説明し、実際に効果的な反射材を靴に張り付けてもらうことで、事故予防を図るのが狙い。

運動に参加しているのは各地区の交通安全協会の婦人部員ら。地域の高齢者を訪問したり街頭指導を行う際に、反射材を配布している。

県警交通企画課によると、今年に入ってから県内では高齢者がかかわる事故が約三千五百件発生。死者数は六十人（十月末）で、歩行中の死者二十二人のうち、約七割を占める十五人が横断中に被害に遭っている。

同課は「暗い時間帯に被害が集中しており、夜間は歩行者も自転車も事故に遭いやすい。足元から『生命の光』を放ってもらい、自ら身を守って欲しい」としている。

県警交通企画課による指導を行う際に、反射材の効果を説明し、実際に高齢者の靴のかかとや底に張り付けている。

同課は「運転者かたも見えにくい薄暮時や夜間は歩行者も自転車も事故に遭っている。

運転中に車燃える

太田

一日午後九時五十分ごろ、太田市田良町の市道で、女性が運転していた乗用車から出火、車エンジンルームなどを焼いた。けが人はなかった。

太田地区消防本部によると、走行中にエンジンストップし、車前部から火が出てきたという。

合併問題で公開質問状

笠懸の住民グループ

笠懸町の有志約四十人で組織する「合併を考える会」（赤石保司代表）は一日までに、田村確也町長に合併問題に関する公開質問状を提出し、十一日午後七時から、同町までの回答を求めた。

同会は今年五月の会設立直後にも、町長に質問状を提出しており今回で二回目。

質問状では、町が東毛地域合併協議会に参加することを選択した経緯や、住民説明などについて町長の説明を求めている。

同会は当分期限日の十一日午後七時から、同町阿左美の町公民館で町長と町民との公開討論会を実施する。

指名手配犯の情報呼びかけ

県警捜査強化月間スタート

県警は十一月を「指名手配犯捜査強化月間」とし、全国の警察本部と連携して逃走している凶悪犯らに対する捜査の厳化を図る。

県警刑事企画課によると、今年九月末現在で全国の指名手配被疑者は約二千八百人。県警は指定重要指名手配被疑者二人（非公開）を含め、十月末までに二十四人を指名手配している。

特に凶悪犯とされる警察庁指定重要指名手配被疑者は、一九九八年一月に群馬町で起きた二人殺人事件で殺人容疑で指名手配されている元トラック運転手、小暮洋史（容疑者当＝前橋市＝を含む二十六人（十月二十九日現在）。小暮容疑者については今年に入り同月までに、三十八件の情報提供があったが、逮捕に結びつくような有力な手掛かりは得られていない。

指名手配被疑者に関する情報提供は県警本部（☎027・243・0110）へ。

文化見本市始まる

県庁

県内の文化活動団体や地域づくり団体などが参加する「ぐんま文化見本市」（ぐんま文化会議、県主催）が一日、県庁周辺で始まった。初日はアカペラコーラスのコンサートやアーメラ作り、対談パソコンセミナーなどが行われ、それぞれの文化を発信した。三日まで。

見本市は、一昨年の国民文化祭の精神を継承、発展させる「ぐんま文化の日」の一環。「あう・はなす・かんがえる」を合言葉に、ステージ発表や展示発表、映画上映など多彩なイベントが繰り広げられる。

県庁入り口には、期間中誰でも参加できるメッセージボードを設置。平和への願いを多くつづった文章や、家族やペットのイラスト、「愛」の一文字など、ほんとうに大切なことについて、県民が寄せたメッセージが展示されている。

多彩なイベントが繰り広げられるぐんま文化見本市

無免許運転のペルー人逮捕

大間々署

大間々署は一日、道交法違反（無免許運転）の現行犯でペルー国籍、新里村新川、無職、スタンプリー・マスコ・ロナル容疑者（三〇）を逮捕した。

調べによると、スタンプリー容疑者は同日午前十時一十五分ごろ、大間々町大間々の県道前橋大間々桐生線で、国際運転免許証の有効期限が今年七月で切れているのを知りながら無免許運転した。衝突事故を起こし、無免許運転が発覚した。

故に遭いやすい。足元から『生命の光』を放ってもらい、自ら身を守って欲しい」としている。

県警交通企画課による指導を行う際に、反射材の効果を説明し、実際に高齢者の靴のかかとや底に張り付けている。

同課は「暗い時間帯に被害が集中しており、夜間は歩行者も自転車も事故に遭っている。

列車にはねられ男性死亡

板倉

一日午後七時十六分ごろ、板倉町海老瀬の東武鉄道日光線踏切で、新栃木発浅草行き準急列車が男性をはね、男性は全身を強く打って即死した。

館林署の調べによると、列車が踏切に差し掛かったところ、男性が遮断機をくぐって線路上で横たわっていたが間に合わず停車したが間に合わなかったらしい。男性は五十歳代後半から七十歳くらいで、同署で身元を確認している。

▽桐生市広沢町の国重要文化財・彦部家住宅で一日、里山観察と炭焼き体験教室が開かれ、参加した親子連れ約百人が竹炭や竹酢液づくりを楽しんだ＝写真。

▽足利工業大付属高校の若崎直理さんが開発したドラム缶式炭焼きを使い、子供たちは火入れから最後の出来上がりまで全工程を体験した。

▽また竹炭を利用したエジソン電球の実験や手作りどんぐこも挑戦。庭園を散策する親子は、里山に育つ植物について学んだ。

時の話題

お風呂でわかり 忘・新年会
〈平日宿泊プラン〉
◆14,000円(税別)
◆12,000円(税別)
◆10,000円(税別)
お得なプラン 飲み放題 プラス3,000円(税別)
ホテルふせじま
TEL.0277-78-2321
http://www.sunfield.ne.jp/ fusezima/

セントリコブ・システム 羽アリ 白アリ
西武消毒(株)
見積無料 ☎027-327-7211(代)

進路相談会
PM1:30～PM4:30
11/8(土)、11/22(土)、12/13(土)、12/24(水)
個別見学随時受付！
平成16年度入学生願書受付中
入試日程 平成15年 11/8(土)、11/22(土)、12/13(土)、12/24(水)
学校法人 太田アカデミー
太田情報商科専門学校
太田市東長岡町1361
0120-168-109

NEWミラクル世界猛獣ショー&
世界三大サーカス
Celebrating one century of Circus!
社会福祉事業協賛
AMAZING SAFARI SPECTACLE
アメイジングサファリスペクタクル
生誕1世紀 KINOSHITA CIRCUS
11月11日まで好評開催中!!
お見逃しなく
世界を感動させたスーパースペクタクル
開演時間
区分 1回 2回 3回 4回
月～水曜日 11:00 13:30
金曜日 13:00 15:30
土曜日 11:00 13:30 15:50
日曜 来日前半(9/7～10/5) 10:00 12:30 15:00 ★
日曜 来日後半(10/12～11/9) 10:30 13:00 15:30
※休演日は毎週木曜日。
※土・日・祝は混雑が予想されますのでお早めにお越し下さい。
無料駐車場あります。
会場のご案内
高崎市役所
高崎駅
TBS住宅展示場
キリンビール群馬支社
群馬の森
サーカス会場 キリンビール跡地
KINOSHITA CIRCUS
高崎市キリンビール跡地特設会場
17号倉賀野バイパス沿い 高崎市宮原町2
詳しいお問い合わせは：
上毛新聞社事業局☎027-254-9955
サーカス事務所☎027-347-9000
主催■上毛新聞社
特別協力 ●キリンビール
後援 ●群馬県、前橋市、高崎市、群馬県教育委員会、高崎市教育委員会、群馬県社会福祉協議会、前橋市社会福祉協議会、高崎市社会福祉協議会、群馬県市長会、群馬県町村会、前橋市自治会連合会、高崎市区長会、群馬県小中学校PTA連合会、群馬県地域婦人団体連合会、群馬県私立幼稚園協会、群馬県保育協議会、群馬県民間保育園協議会、群馬県子ども会育成団体連絡協議会、前橋市子ども会育成団体連絡協議会、高崎市子ども会育成団体連絡協議会、群馬県商工会議所連合会、群馬県商工会連合会、群馬県商店街振興組合連合会、群馬テレビ、エフエム群馬、ラジオ高崎（順不同）
協賛 ●森永製菓、スズキ、三国コカ・コーラボトリング、高崎高島屋、山九
■www.kinoshita-circus.co.jp ■e-mail:webmaster@kinoshita-circus.co.jp

この印刷物の文章・写真等の著作権は上毛新聞社が保持しています。無断転載、複製及び頒布は禁止します。